



対岸から眺めた切妻屋根が3つ連なる特徴的な蔵。利き酒コーナーも楽しい！



国盛 酒の文化館

くにざかり さけのふんかかん

「中笠酒造(なかのしゅぞう)」のお酒の博物館。実際に約200年にわたり酒造りを行ってきた酒蔵で、館内は当時の面影を感じることができる。酒造りの解説や展示などで半田の醸造の歴史を学べる。



代表銘柄「国盛」ほか、中笠酒造製品が買える蔵元直売所も。



広々とした景観を楽しみながら運河沿いの遊歩道を散策！

端午の節句の時期には、50匹以上の鯉のぼりが春の空を彩る。



夏開催の「キャナルナイト」は、運河の水面に参加者がヒカリノ玉を浮かべる幻想的な光のアートイベント。



運河の風にたなびく！



半田運河

ほんだうんが

醸造業と海運業で栄えた半田発展の中心となった港。建ち並ぶ蔵から小舟で荷を運び出して弁才船へと積み込み江戸まで運んだ。現在は、かつての面影を残した広々とした景観の運河散策や、発酵と醸造の歴史文化を楽しめる観光スポットに。市民に愛される憩いの場でもあり、活用事例として評価され平成29年「都市景観大賞」を受賞。

半田運河

HANDA CANAL



江戸時代、醸造と海運で活気あふれた港まちはいま、半田の誇る発酵と醸造の歴史文化を世界へ向け情報発信する渾まちは。

半田運河エリア

半田が誇る発酵と醸造の歴史文化

handa unga

ページ掲載情報をさらに詳しくご紹介！WEBサイト「半田市観光ガイド」▶半田運河エリア



約千個の風鈴の涼やかな音色！



半六庭園は自由に散策ができ、夏には「半六庭園の風鈴祭り」、秋には「半六庭園のランプ祭り」など、季節ごとに楽しめる。敷地の南西には舟の板を使った「舟板堀」が残る。



半田のワンハンドフード
チョコみそ味のバウムクーヘン！

いいかもポイント
いかにも！Handa



プレーン味と、地元のみそを使ったチョコみそ味。どちらも絶品！



ばあむくうへん研究所

ばあむくうへんけんきゅうじょ

バームクーヘン専門の工房兼販売所。季節ごとに限定商品が登場し、発酵調味料を使った個性的なフレーバーも人気。



国指定重要文化財 旧中笠家住宅

きゅうなかのけいじゅうたく

第10代中笠半六が明治44年に建てた洋風別荘。欧州留学中に見た住宅の美しさに心惹かれ、それらを模して建築したと言われている。ハーフトンパースタイルの外観が特徴。設計は鈴木禎次。

★いかにも半田クワイ★Q2 江戸時代、半田から江戸に運ばれていた酢の原材料は？ A 米 B 果実 C 穀物 D 麦 E 酒粕 / こたえはP17へ



リトリートキッチン

りとりーとキッチン

ミツカンミュージアムの正面玄関前にちょこんと建つスムージー&フーズスタンド。粕酢を使ったビネガー・ジュースは半田ならではの味わい。テイクアウトできるカラダに優しいメニューが並ぶ。

ミツカンミュージアム限定販売の粕酢「千夜」(P14)と濃厚マンゴーがベストマッチ。

半田市鉄道資料館

はんだしてつどうしりょうかん

「JR武豊線」は日本の鉄道黎明期に開通した路線のひとつで、その貴重な歴史資料を収蔵する資料館。「C11265蒸気機関車(SL)」の静態保存も鉄道ファン必見！



汽笛が鳴る蒸気機関車！



楽しい体験展示で大人も子どもも楽しめる。MIM名物の「す」ポットでの記念撮影もお忘れなく！



江戸へ粕酢を運んでいた「弁才船(べざいせん)」に乗りし、大きさを体感できる。



MIZKAN MUSEUM (MIM)

みつかんみそーじあむ(みむ)

ミツカングループの本社に隣接する、お酢の体験型博物館。ミツカングループの軌跡を辿りながら、醸造技術の歴史や食文化の魅力を、見てさわって楽しく学べる。ミュージアム限定品もお土産におすすめ。(P14・16)

「味ぽんスタジオ」でつくるオリジナルマイ味ぽん。季節の柄もあり旅の記念にピッタリ。

国登録有形文化財 旧中笠半六邸

きゅうなかのほんろくてい

半六庭園

はんろくていえん

尾州半田の繁栄を牽引した豪商・中笠半六家の旧邸宅。回遊式の日本庭園、母屋、炊事場(七連かまど)、3つの蔵が現存している。庭園は一般開放され、母屋2階は貸室として、イベントや撮影などに利用。



HANROK

はんろく

有形文化財の邸宅内でコース料理が楽しめる本格フレンチ。愛知県・知多半島産の厳選食材に発酵・醸造を利かせ、食と文化の繋がりを感じられる革新的なメニューが堪能できる。